



大日本塗料株式会社

2025年度 通期
決算説明資料

東証プライム：4611

2026年5月21日

FY25業績ハイライト

売上高	93,759 百万円	FY24比 +29.3% 業績予想比* +1.9%
営業利益	3,854 百万円	FY24比 Δ 18.3% 業績予想比* Δ 6.0%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,688 百万円	FY24比 Δ 82.1% 業績予想比* Δ 0.7%
NOPAT-ROE	4.1 %	FY24比 Δ 1.2p
ROE	2.6 %	FY24比 Δ 12.6p

*本資料における比較対象の業績予想は、すべて2026年2月26日公表時のもの
(資料内以下、“FY25e”として表記)

配当(予定) 1株当たり **58** 円

FY26業績予想*

売上高	96,000 百万円	FY25比 +2.4%
営業利益	5,500 百万円	FY25比 +42.7%
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,400 百万円	FY25比 +101.4%
NOPAT-ROE	5.6 %	FY25比 +1.5p
ROE	5.0 %	FY25比 +2.5p

*FY26業績予想に直近の中東情勢に伴う原材料影響などの変動要素は未反映
(資料内以下、“FY26e”として表記)

配当(予想) 1株当たり **58** 円

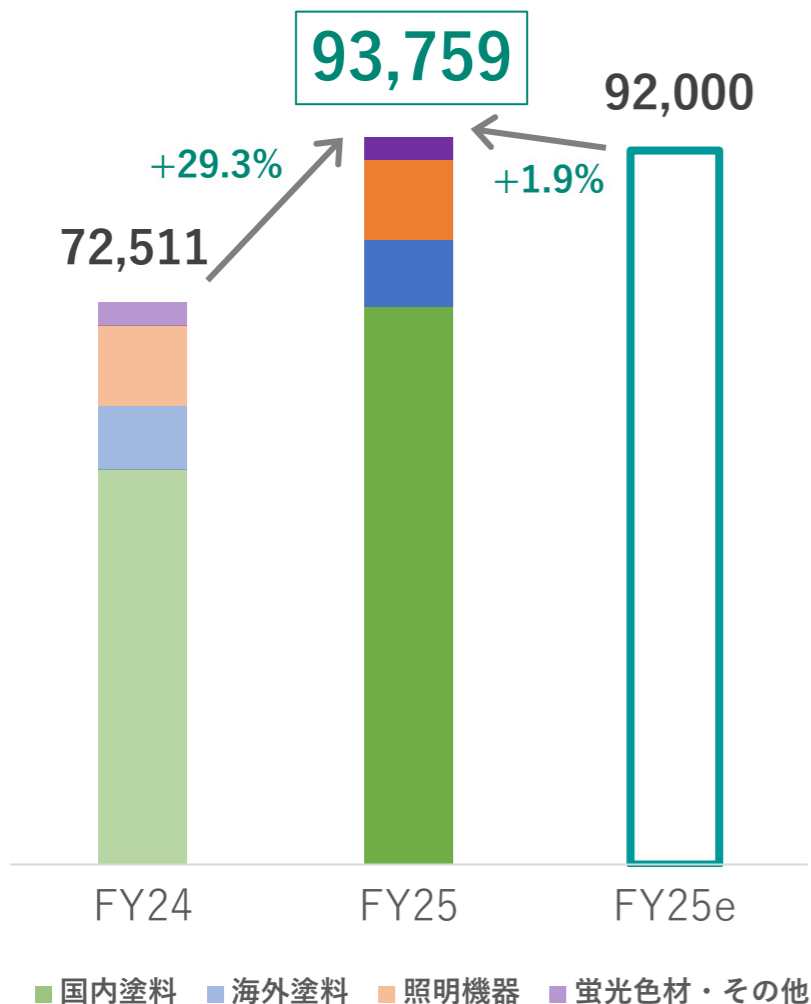
Part I . 決算実績・業績予想 p. 2

Part II . 中期経営計画の進捗 p. 15

Appendix. 経営指標の推移 p. 26

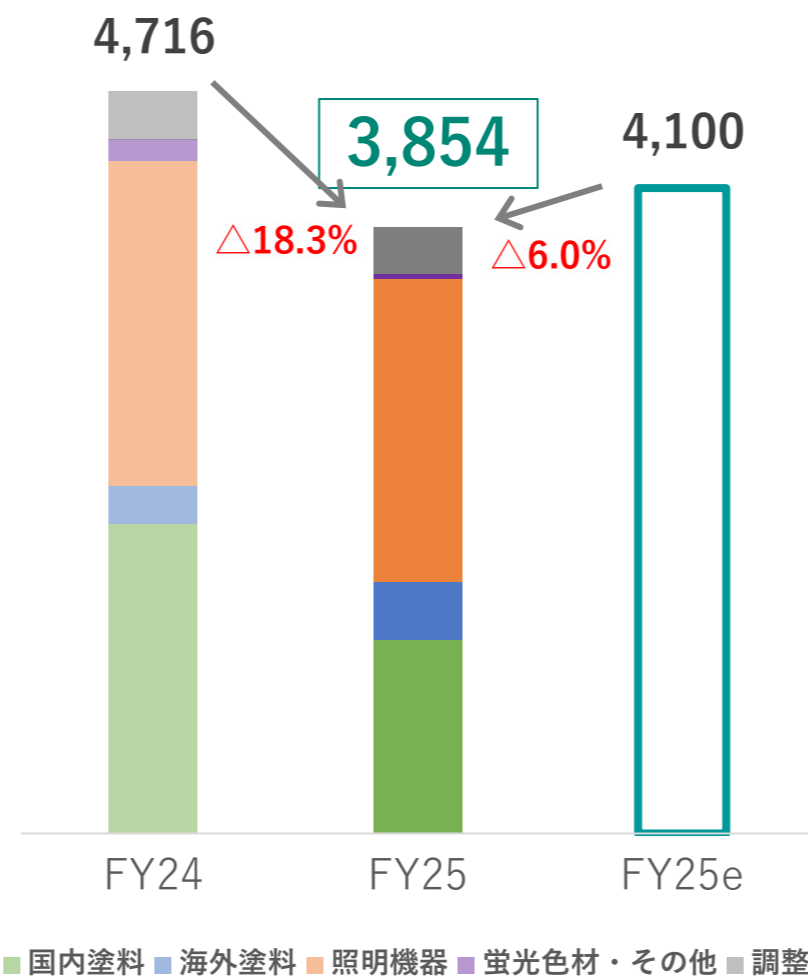
売上高

- 国内塗料、海外塗料で販売低調も、新規連結による売上増加



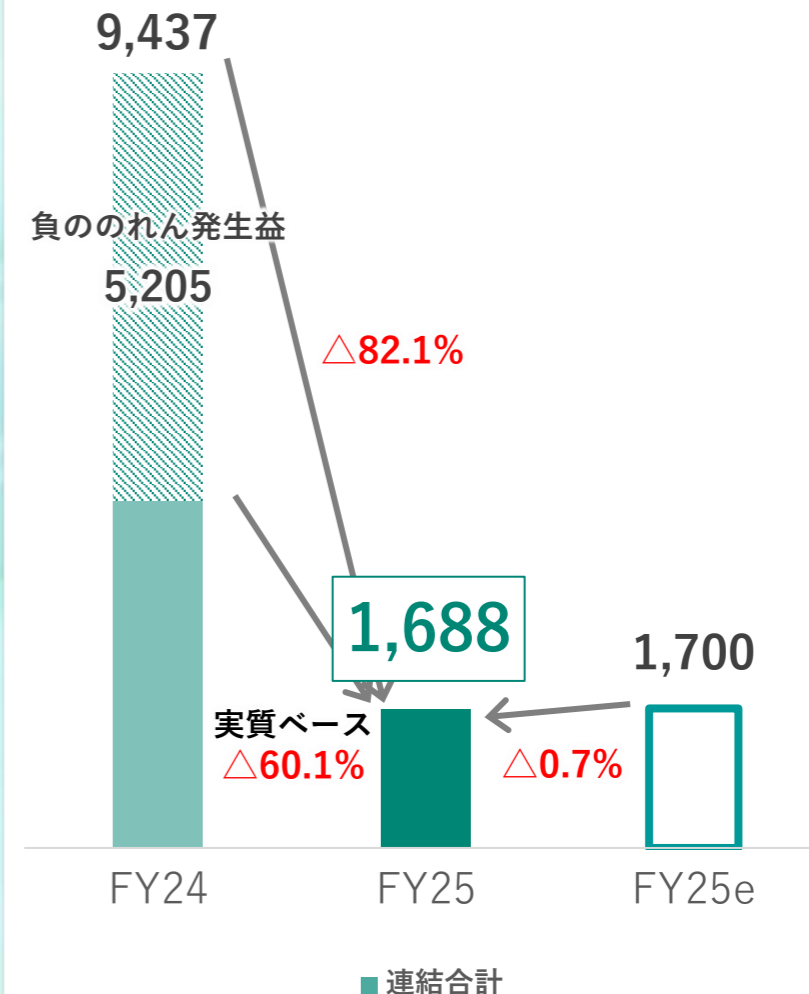
営業利益

- 低調な販売による収益性悪化および人件費等の経費増加



親会社株主に帰属する当期純利益

- 前期計上の神東塗料連結化による負ののれん発生益が剥落
- 中国事業持分譲渡による損失計上



2025年度の損益状況：国内塗料

JIS一時停止に伴う出荷数量減とそれに伴う生産効率悪化により、利益率は例年比で低迷
他方、品質管理強化と再発防止策の徹底に努め、2025/11に当該処分は解除に至る

(百万円)	FY24 通期	FY25 通期	前期比		備考
			増減額	増減率	
売上高	50,921	71,870	+ 20,949	+ 41.1%	
一般用分野	20,644	20,425	△ 219	△ 1.1%	・ 2025/11にJIS一時停止処分が解除されたが、期中の販売回復は限定的で売上は弱含みで推移。
工業用分野	18,450	18,119	△ 330	△ 1.8%	・ 自動車部品用途や各種建材用途の市況低迷により需要が伸び悩み、前期比減収。
インク/分散/他	4,245	4,559	+ 314	+ 7.4%	・ インク/分散は期末にかけての在庫調整や新規顧客開拓の遅れにより減収。一方でインクに関連する設備販売により、分野合計では増収。
子会社/調整	7,580	8,284	+ 704	+ 9.3%	・ 販売子会社の好調な業績により増収。
神東塗料	-	20,481	+ 20,481	-	
営業利益	1,968	1,231	△ 736	△ 37.4%	・ 製品ミックス改善や価格是正を継続も、販売低迷による収益性悪化に加え、人件費等の経費増加を吸収できず減益。
営業利益率	3.9%	1.7%	△ 2.2p	-	

地域別で明暗分かれるも、中国の赤字圧縮により増益確保

- 中国事業の抜本的な構造改革として2026年2月に現地法人の持分譲渡を決定。2027年3月期中に自社生産体制から撤退し、海外塗料事業の収益体質改善を急ぐ。

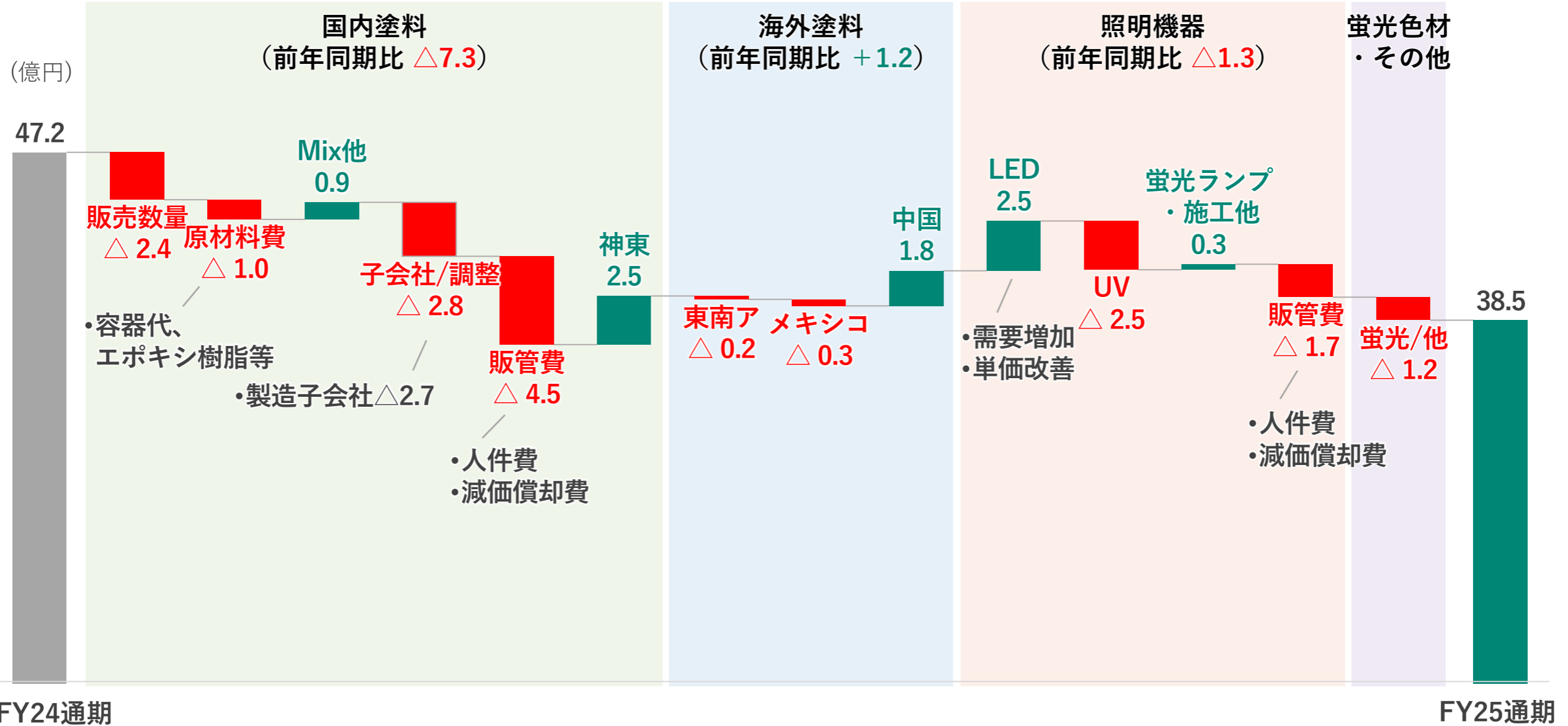
(百万円)	FY24 通期	FY25 通期	前期比		備考
			増減額	増減率	
売上高	8,133	8,590	+ 457	+ 5.6%	
東南アジア	5,352	6,048	+ 695	+ 13.0%	・タイを中心に自動車生産低迷に伴う需要減少が継続も、神東塗料グループの連結化により増収。
メキシコ	1,807	1,647	△ 160	△ 8.9%	・低採算品の販売抑制や主要顧客における在庫調整の影響を受け、減収。
中国	972	895	△ 77	△ 8.0%	・各種工業用途における需要の減少により、減収。
営業利益	238	368	+ 129	+ 54.2%	・中国における赤字圧縮により、増益。
営業利益率	2.9%	4.3%	+ 1.4p	-	
営業利益 (中国除く)	654	603	△ 51	△ 7.8%	
営業利益率 (同上)	9.1%	7.8%	△ 1.3p	-	

コスト増により前期比減益も、価格戦略等による製品収益性の向上は着実に進展

(百万円)	FY24 通期	FY25 通期	前期比		備考
			増減額	増減率	
売上高	10,418	10,424	+ 6	+ 0.1%	
LED	7,692	8,245	+ 552	+ 7.2%	・再開発案件を中心とした商業施設向けや宿泊施設向けの堅調な需要に支えられ、売上伸長。
UV	1,025	742	△ 283	△ 27.6%	・特定顧客向けの需要が減少。
蛍光ランプ/ 施工/他	1,700	1,437	△ 263	△ 15.5%	・蛍光ランプは市場縮小の影響が大きく、減収傾向。
営業利益	2,063	1,928	△ 135	△ 6.6%	・前期に実施した本社移転に伴う減価償却費の増加や人件費の増加が影響し、利益は縮小。
営業利益率	19.8%	18.5%	△ 1.3p	-	

2025年度 連結営業利益の増減要因：2024年度比（概算）

国内塗料の数量低迷とそれに伴う生産収益性の悪化およびコスト増加により、減益



政策保有株式の縮減、借入活用により設備投資の積極化を進める

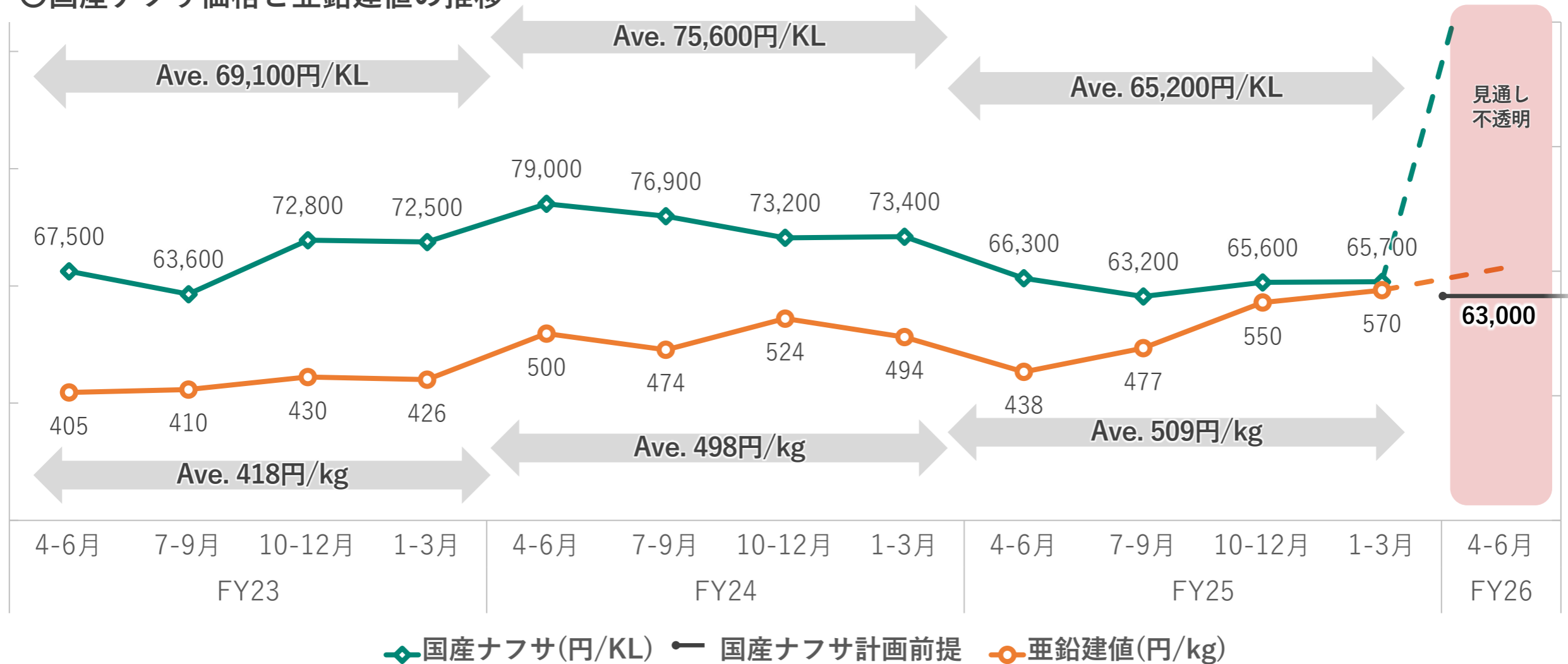
	2025年3月末	2026年3月末	増減額	備考
資産合計	133,344	137,490	+ 4,146	
流動資産	53,066	51,258	△ 1,807	現預金△1,317
有形固定資産	46,040	48,270	+ 2,229	滋賀物流倉庫の竣工
無形固定資産	1,410	1,492	+ 81	
投資その他の資産	32,826	36,468	+ 3,642	退職給付に係る資産の増
負債合計	57,173	60,813	+ 3,639	
(うち 借入金)	(11,576)	(14,500)	(+ 2,924)	
純資産合計	76,170	76,676	+ 506	
(うち 株主資本)	(54,515)	(54,883)	(+ 368)	
負債・純資産合計	133,344	137,490	+ 4,146	
自己資本	65,027	66,773	+ 1,745	
自己資本比率	48.8%	48.6%	△ 0.2p	

営業減益により営業CFが伸び悩む
資金需要は借入活用に加えて、政策保有株式の売却を継続

	FY24通期	FY25通期	増減額	備考
営業活動による キャッシュ・フロー	3,570	3,011	△ 559	国内塗料、海外塗料の低調
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 364	△ 3,397	△ 3,033	設備投資の増加 有形固定資産売却高および投資有価証券売却高の減少
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 75	△ 189	△ 113	配当総額の増加
現金及び現金同等物に 係る換算差額	470	19	△ 451	
現金及び現金同等物の 増減額	3,601	△ 556	△ 4,157	
現金及び現金同等物の 期首残高	7,867	11,469	+ 3,601	
現金及び現金同等物の 期末残高	11,469	10,913	△ 556	

FY25の原材料市況は比較的安定推移。一方、中東情勢の急変により足元では原材料調達環境が悪化
 FY26の計画前提の国産ナフサ価格は、中東情勢反映前の63,000円/KLとする

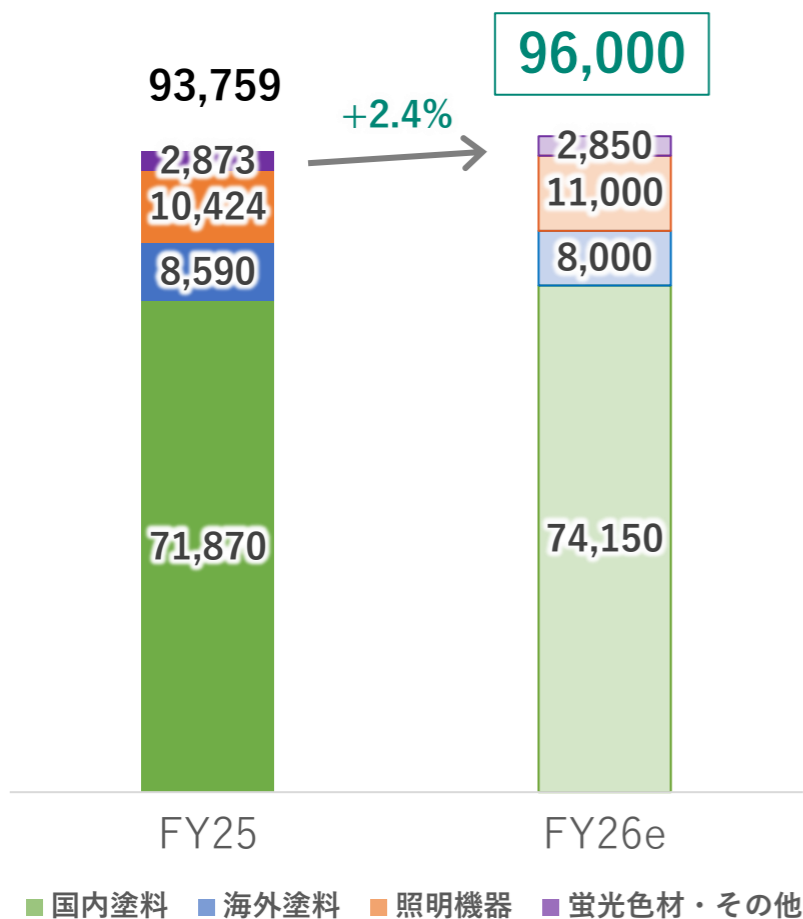
○国産ナフサ価格と亜鉛建値の推移



業績予想に直近の中東情勢に伴う原材料影響などの変動要素は未反映も、安定調達と安定供給に最大限努め、適切な範囲での価格是正を行うことで、業績予想の達成を目指す方針。

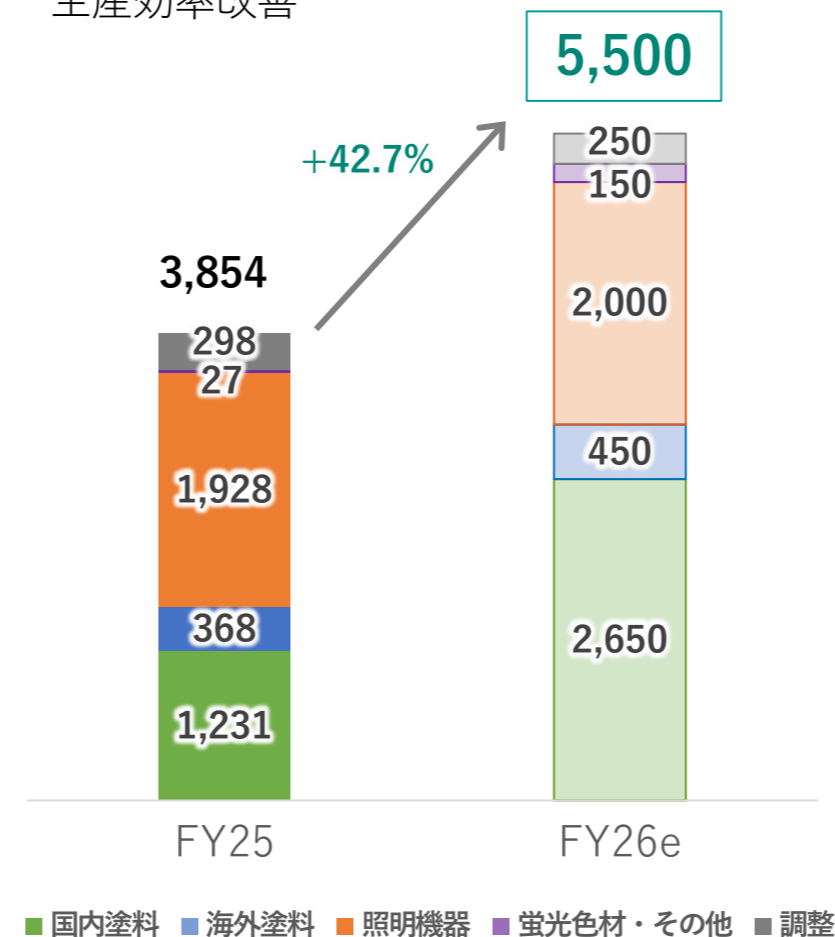
売上高

- 国内塗料におけるJIS一時停止影響からの販売回復



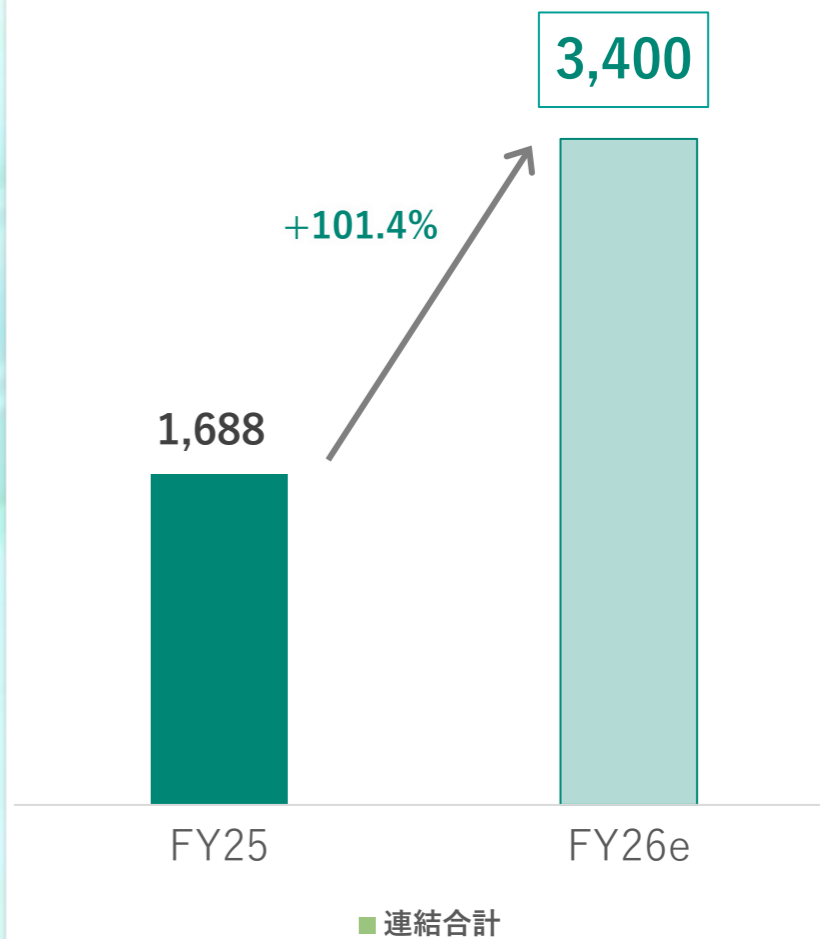
営業利益

- 販売回復による増益およびそれに伴う生産効率改善



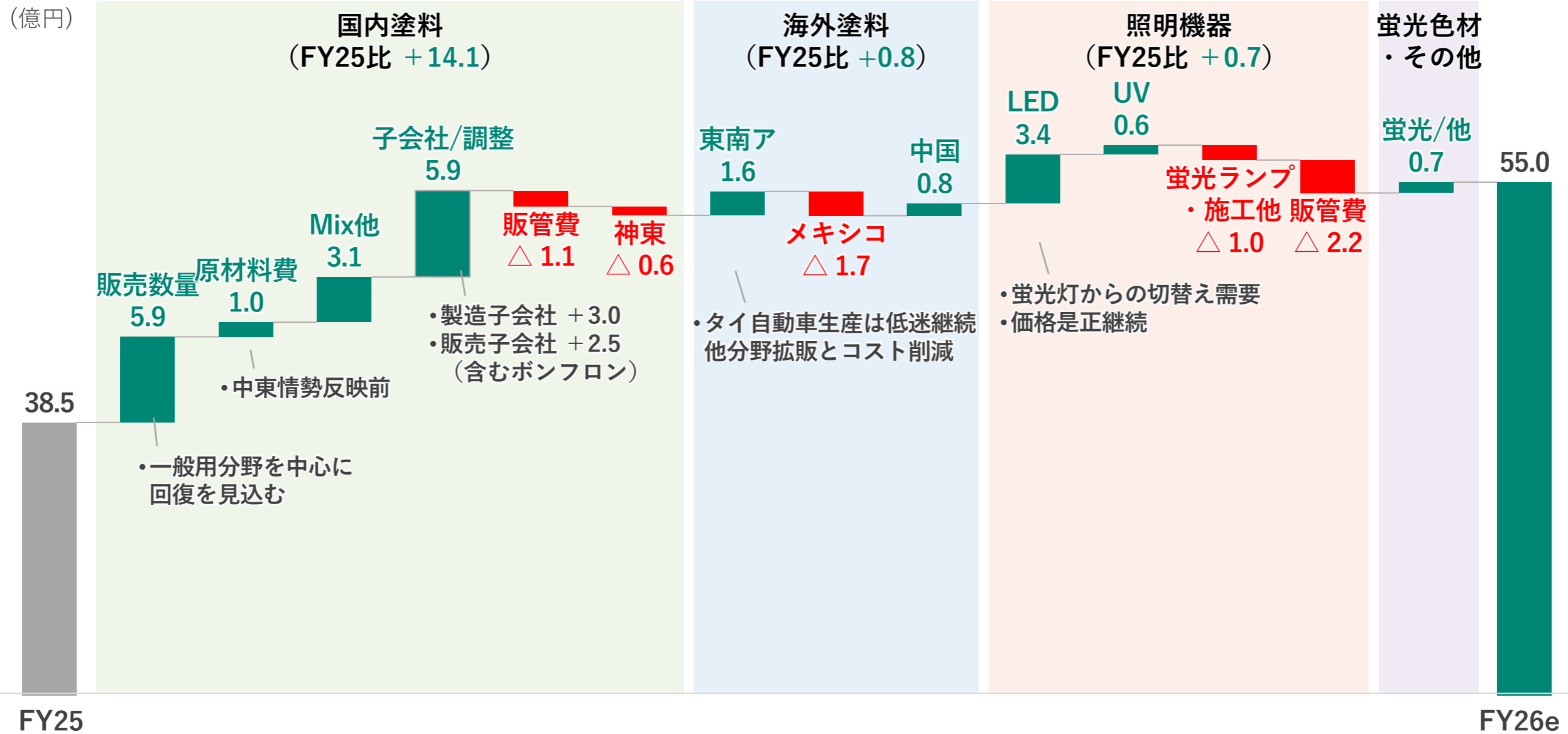
親会社株主に帰属する当期純利益

- FY25計上の関係会社整理損の剥落

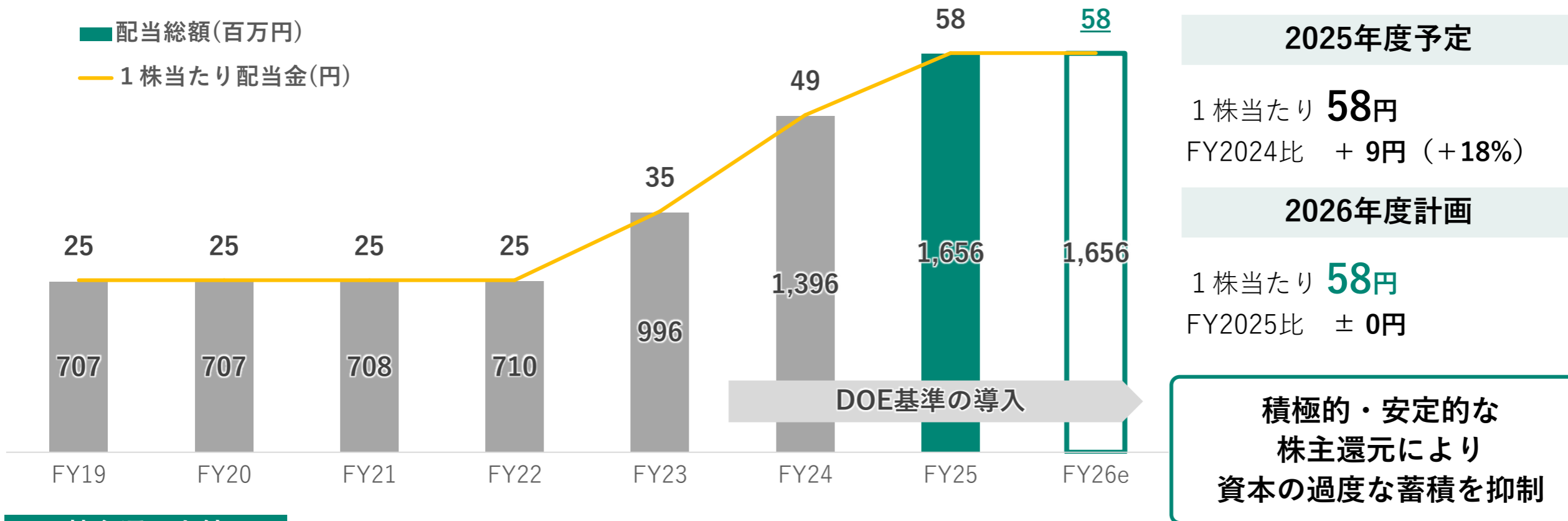


2026年度 連結営業利益（予想）の増減要因：2025年度比（概算）

販売数量の回復による直接的な増益効果と生産効率改善の両面から利益を押し上げる



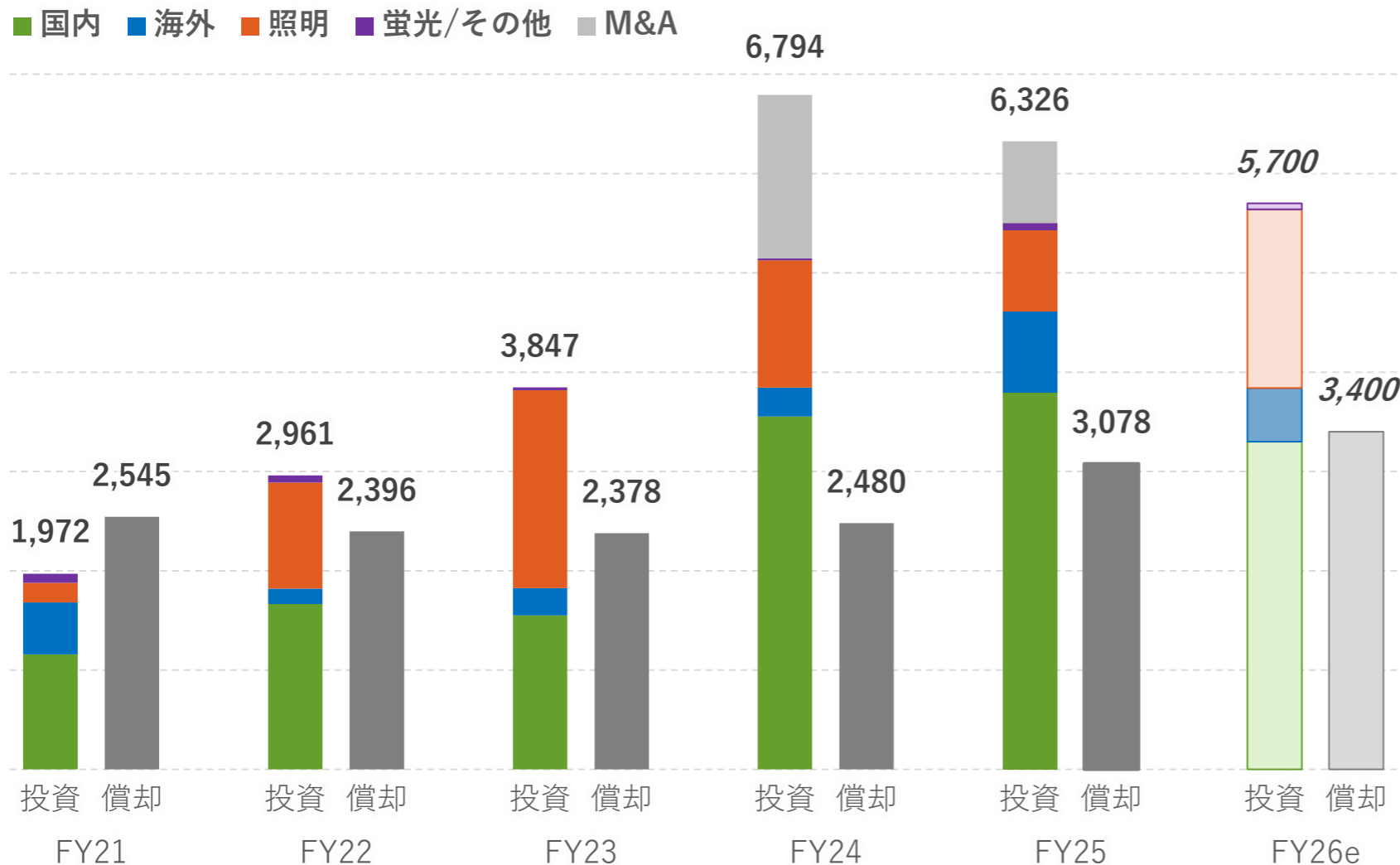
DOE3.0%を基準に、2026年度も積極的な株主還元を計画。



株主還元方針

- 長期安定的な配当を目指し、株主還元指標に**DOE：株主資本配当率**を採用。
- 2026中計期間（2024年度～2026年度）は**DOE3.0%**を基準とし、次期中計最終年度となる2029年度までに5.0%到達を目標とする。（基準とする株主資本は前期末）
- 自己株式の取得は、市場環境や資本効率等を勘案し、必要と判断した場合は適切な時期に実施。

キャッシュアロケーション方針に基づき、積極的な設備投資を継続



主な投資内容

2025年度実績

国内塗料

- ・ 物流拠点移転(効率化・環境改善) 19億円
- ・ 工場(効率化・更新・環境改善) 13億円

照明機器

- ・ 工場増改築(効率化・環境改善) 5.6億円
- ・ 他更新投資等 2.5億円

2026年度計画

国内塗料

- ・ 本社移転(環境改善) 4億円
- ・ 工場(効率化,能増,安全,更新) 24億円

照明機器

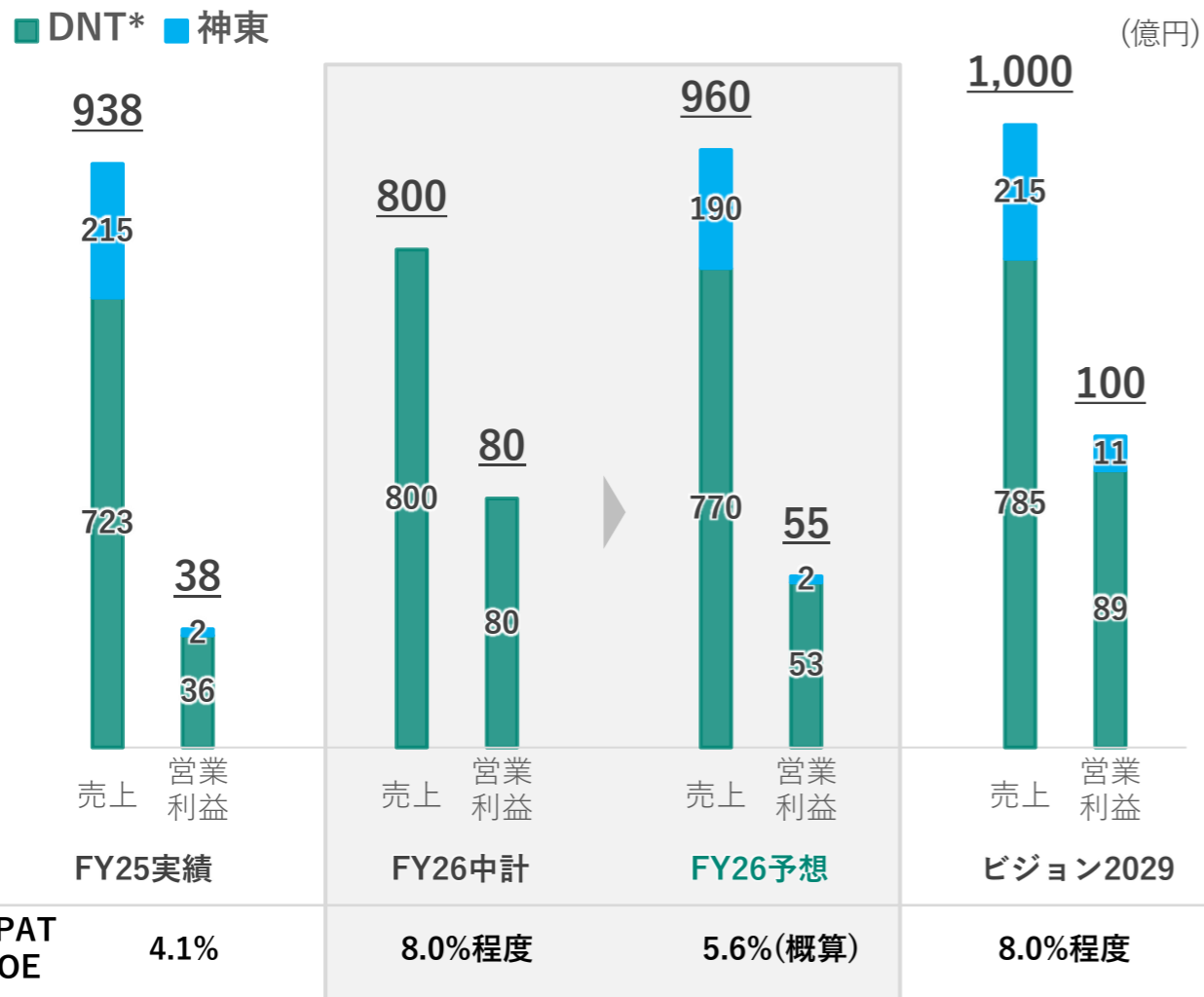
- ・ 工場増改築(効率化,能増) 18億円

Part I. 決算実績・業績予想 p. 2

Part II. 中期経営計画の進捗 p. 15

Appendix. 経営指標の推移 p. 26

FY26予想は中計目標に対して利益面で大きく未達も、ビジョン2029の前提としていたM&Aは想定よりも早期に実行。ビジョン2029の業績目標は堅持し、収益性改善を急ぐ。



*DNTとして記載の数値は、連結合計から神東塗料分を差し引いた値を便宜上記載

取り組み方針・今後の見通し

規模の拡大

- ビジョン2029の売上高目標1,000億円に向けてはM&Aを前提としていたなか、神東塗料(2025/3)、ボンフロン(2025/12)と2件のM&Aを実施。
- 両社の事業領域を踏まえた事業ポートフォリオ整理を行い、成長領域・収益基盤領域へ注力。

収益性改善

- 外部リソース活用を含めた事業構造の抜本的改善や生産性向上を推進。
- 新たなグループ体制における生産最適化が最重要課題。並行して、短期的には調達コスト改善、中長期的には技術開発の融合・高度化による収益性改善を図る。

資本効率改善

- 積極的な株主還元と成長分野への投資、適切な設備刷新により、自己資本の過剰な蓄積を抑制。
- キャッシュアロケーション方針に基づき、積極的な投資実行と遊休資産整理と株主還元の強化を継続実施。併せて借入を活用し、自己資本比率は50%以下への抑制を継続。(FY23: 58.6% → FY24: 48.8% → FY25: 48.6%)

DOEに基づき株主還元は岩盤として確保。
営業CFの弱含みを遊休資産と借入の活用にて補完。

キャッシュインの進捗状況

営業CF

FY24実績： 35億円
FY25実績： 30億円
FY26見込： 約50億円（概算）

計画にビハインド、
引き続き収益改善に努める

政策保有株式売却高

FY24実績： 28億円
FY25実績： 15億円

借入の活用(前期末比増加額)

FY24実績： 15億円
FY25実績： 29億円

遊休資産と借入の活用を継続実施

2024-2026年度 3か年累計（計画）

営業CF

150億円
(50億円/年)

政策保有株式 の圧縮等

借入の 活用

社内外資産
の効率活用

株主還元 50億円 + α
(17億円 + α /年)
FY26 : DOE3%

成長投資
設備更新
(人的資本投資・DX)

200億円 + α
(67億円 + α /年)

キャッシュイン

キャッシュアウト

キャッシュアウトの進捗状況

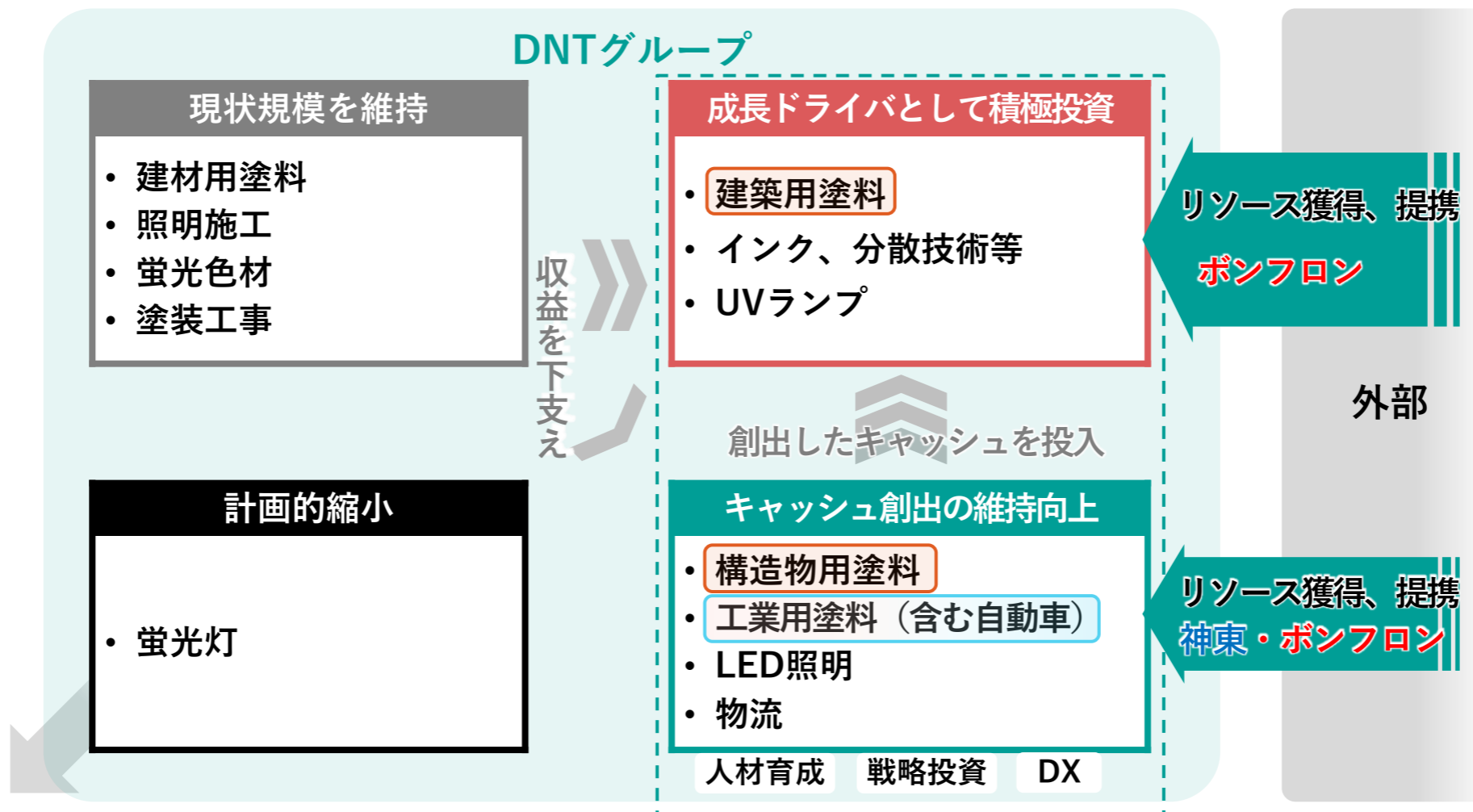
配当総額 FY24実績： 13.9億円
FY25予定： 16.5億円
FY26計画： 約16.5億円

DOEに基づき還元強化を進める

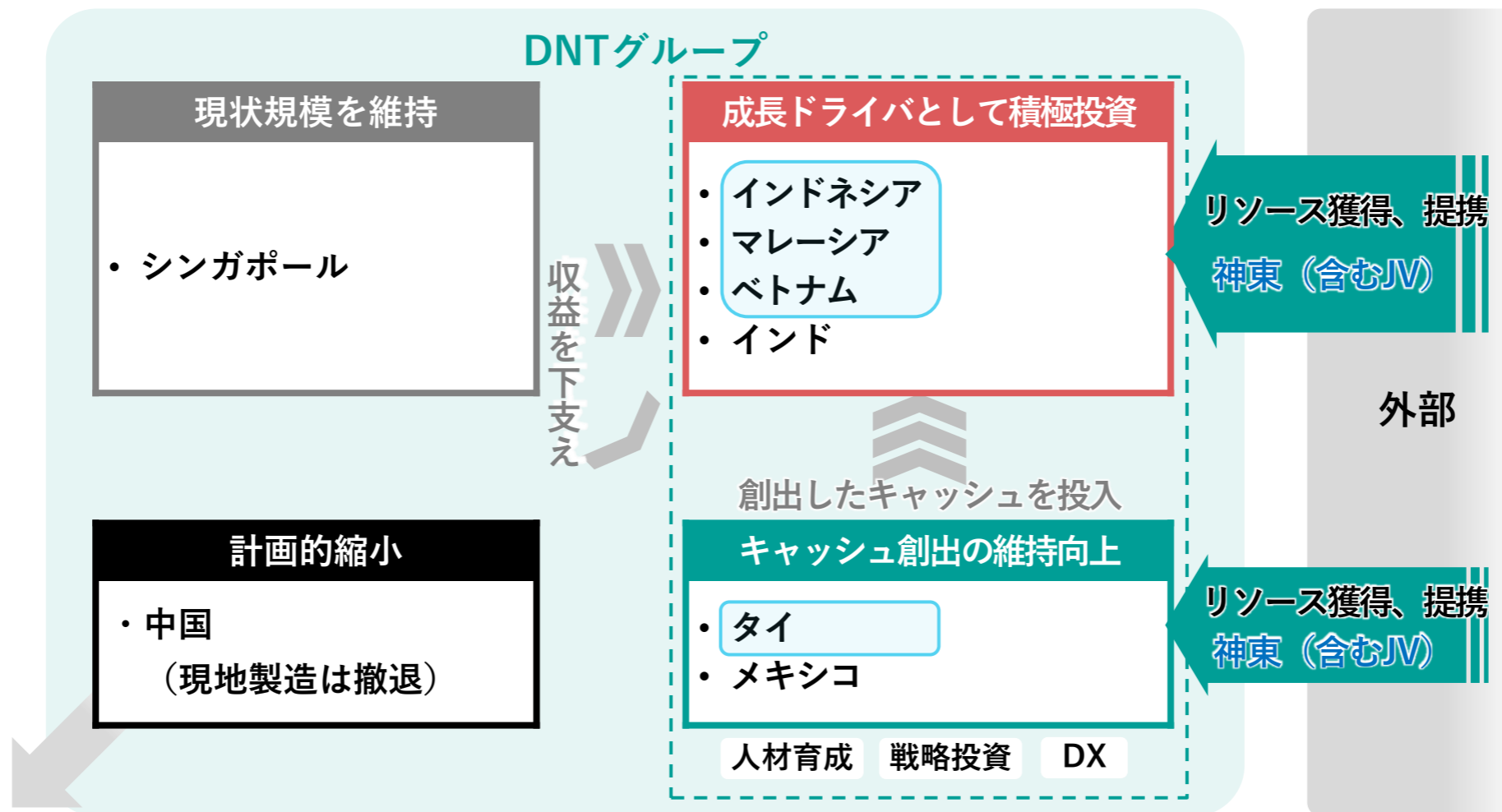
投資額 FY24実績： 67億円
(神東塗料 M&A含む)
FY25実績： 63億円
(ボンフロンM&A含む)
FY26計画： 57億円

将来を見据えた大型投資を複数実行の一方、
営業CFの弱さに鑑み計画比では抑制

- 2026中計期間に実施した2件のM&Aを踏まえ、既存ポートフォリオの見直しを実施。
- 神東塗料連結化で国内シェアトップとなる粉体塗料や電着塗料による工業用途向けにリソースを集中。統合効果により構造物用塗料に次ぐ柱としてキャッシュ創出力を更に高めていく。



- 海外塗料市場が成長ドライバーとの認識はそのままに、2026中計期間に実施した中国現法の事業譲渡並びに神東塗料の連結化を踏まえ、国内と同様、エリア別で4つのカテゴリーに分類。
- 神東塗料と良好な関係にあるJVパートナーと将来的な連携強化を視野に入れながら、事業領域を拡大していく。



重点施策	取り組み内容
<p>成長市場と先駆的領域への注力</p>	<p>①事業の位置づけ整理</p> <ul style="list-style-type: none"> 中国事業の見直し検討(海外) → 2026/6末持分譲渡予定。中国の生産拠点は撤退し、赤字解消見通し。 ハイグレード住宅市場への注力強化(照明) → 旺盛な既存市場対応を優先し、住宅市場の開拓は一時中断。 2027/12の蛍光灯生産終了を見据えた、蛍光灯製造拠点のUVランプ製造への転換および生産移管の推進(照明) 神東塗料やボンフロンを加えた事業ポートフォリオの再整理に着手(国内,海外)
	<p>②戦略投資の実行</p> <ul style="list-style-type: none"> クマロン樹脂製造の収益率向上とBCP強化を目的とした蒸留塔更新(国内) 照明機器の生産効率化および能増を図る工場増改築着工(照明)
	<p>③製品開発強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 細胞外小胞を検出可能な試薬キットExorapid-qIC®の新製品発売(国内) → 試験結果の定量測定システムをTOPPANと共同開発。米国、欧州、中国、台湾への販路を構築し、海外展開を進める。 ナノコート材の独自の高透明・高屈折率化技術とカスタマイズ力を強みに、フィルム加工の海外シフトを捉えたグローバル展開を加速(国内) 技術開発センター立ち上げ(照明) → 屋外用途、無線制御対応製品、埋込対応製品等の戦略製品の開発を推進中 染料、薬剤の安全性に関する国際認証[エコテックス®エコパスポート]取得(蛍光)

重点施策	取り組み内容
外部リソース獲得・活用による事業基盤の拡大	④塗料事業の基盤拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・神東塗料連結化(2025/3)
	⑤事業の抜本的効率化 <ul style="list-style-type: none"> ・AGCコーテック連結化(2025/12)
	⑥設備刷新・DXによる生産性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・独自開発の購買システムを活用した原材料調達コストダウンとBCP強化(国内) ・東京オフィス改装、DNL新本社建設等の職場環境改善 (国内,照明) ・タイに大規模な太陽光発電システムを導入、エネルギー効率改善(海外) →約36%のCO₂削減効果を確認。 ・グループ拠点集約と物流効率化(その他_物流) →滋賀を新たな物流基幹拠点として2026/1より稼働。
人材及び事業活動の全社最適化	⑦人と組織の全社最適化 <ul style="list-style-type: none"> ・タレントマネジメントシステム導入(国内,照明) ・人事評価に360度評価を導入：管理職のマネジメント力、組織力向上へ(国内) ・役員報酬制度の改定：2026中計の業績目標と連動した評価指標へ
	⑧組織間協働の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・インクやライフサイエンス領域の強化に向けた組織再編(国内) ・販売力強化、海外事業推進ならびに国内外の事業部間の連携強化を図るべく、国内/海外の塗料事業の企画部門を統合(国内,海外) ・プランニング機能強化を目的とした新組織立ち上げ(照明) ・DNT本社移転(2026/9予定)。本社機能をワンフロアに集約し、部門間連携の強化や人材が力を発揮できる環境づくりを推進。

事業提携コミッティ傘下に各分科会を立ち上げ、短期・長期両面からシナジー効果を発揮する体制を構築

	FY25	FY26	FY27	FY28	FY29	期待効果額	取り組み状況
調達						3億円	<ul style="list-style-type: none"> 原材料品目やコストダウンに向けた取り組みを共有し、各社において調達コストの低減を図る。 → 共同購買による更なる安価調達に向けて協議
生産						7億円	<ul style="list-style-type: none"> 品種別製造実績や製造原価構成について共有、最適化に向けた初期的検討に着手。 一部品目の試作生産開始。
人財						—	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な経営体制構築に向けたサクセッションプランの検討着手。
その他						5億円	<ul style="list-style-type: none"> 海外市場拡大に向けてDNTと神東海外子会社や海外JV先との協議、テーマアップを開始。 分析や特許管理業務の効率化に向けて協議。 業務システムの共通化やコストダウンについて検討開始。 環境安全・リスクアセスメント、GHG排出量の削減等のベストプラクティスに向けて協議。
販売、物流						算定中	<ul style="list-style-type: none"> 相互の製品ラインナップ補完に向け、相互供給開始。 地区別での共同配送、保管・荷役の諸条件について協議。 調色業務の効率化や合理化に向けた検討着手。 SCM高度化に向けて、2026/4よりDNT・神東間の人材交流を開始。

○ 効果発現目標 ● 最大効果到達目標

DD時の想定効果

事業の抜本的な効率化に不可欠な各セクションにおける将来的な機能の一本化を目指した検討を進める。

サプライチェーンマネジメントの最適化

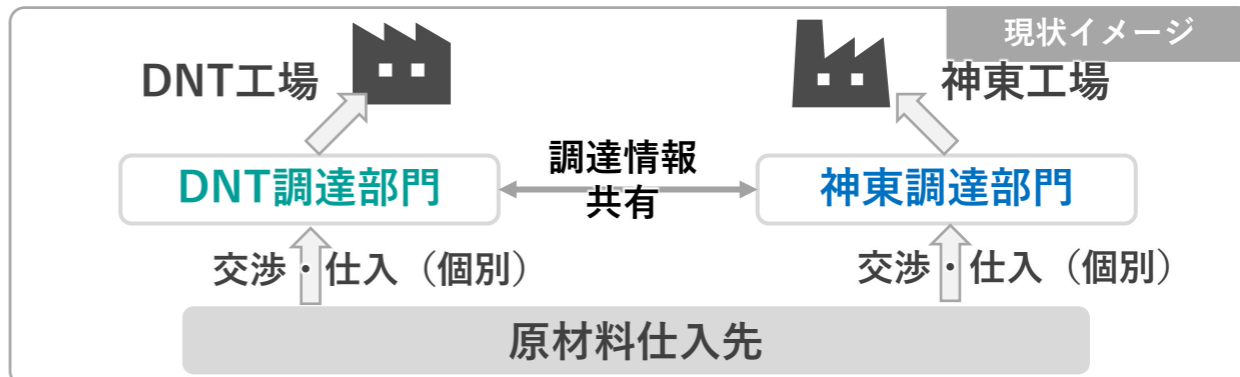
- 調達**
 - 調達機能の一本化（ボリュームディスカウント、業務効率の改善による固定費削減）
- 生産**
 - 製造ライン再編や総合的な最適化
 - 品質管理、労働安全管理の高度化
- 販売**
 - 製品相互供給によるラインナップ補完
 - 物理的な営業拠点の集約
- 物流**
 - 保管・荷役業務の一本化
 - 共同輸送による積載・輸送効率の改善

お客様

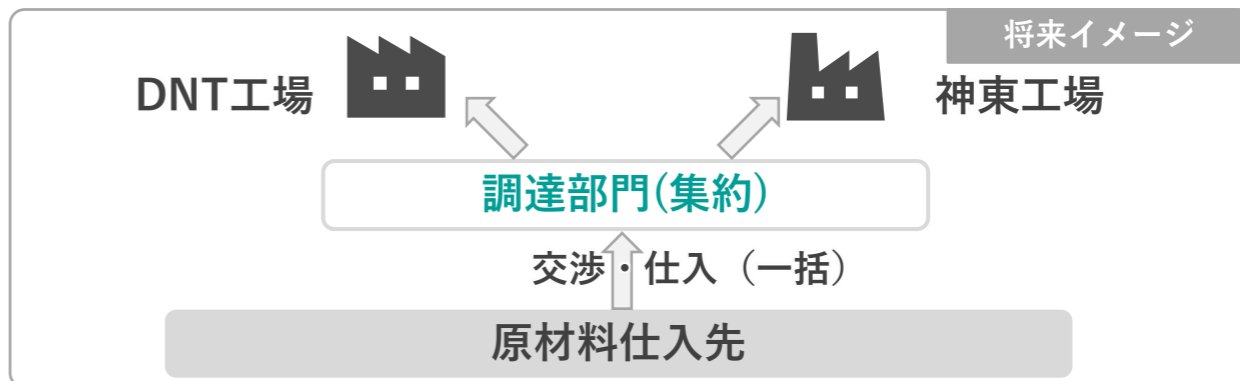
その他

- 技術開発領域における協創、棲み分けの区分明確化
- 業務システムの統合、本部コストの圧縮

原材料調達の最適化



- 現状は2社間での情報共有を踏まえ、各社において調達コストダウンを追求。
→ FY25において2社合計で**1億円**の効果見込み。
- 今後、更なるコストダウンに向けて、原材料品目ごとのまとめ購買や、調達機能の一本化を目指して取り組む。

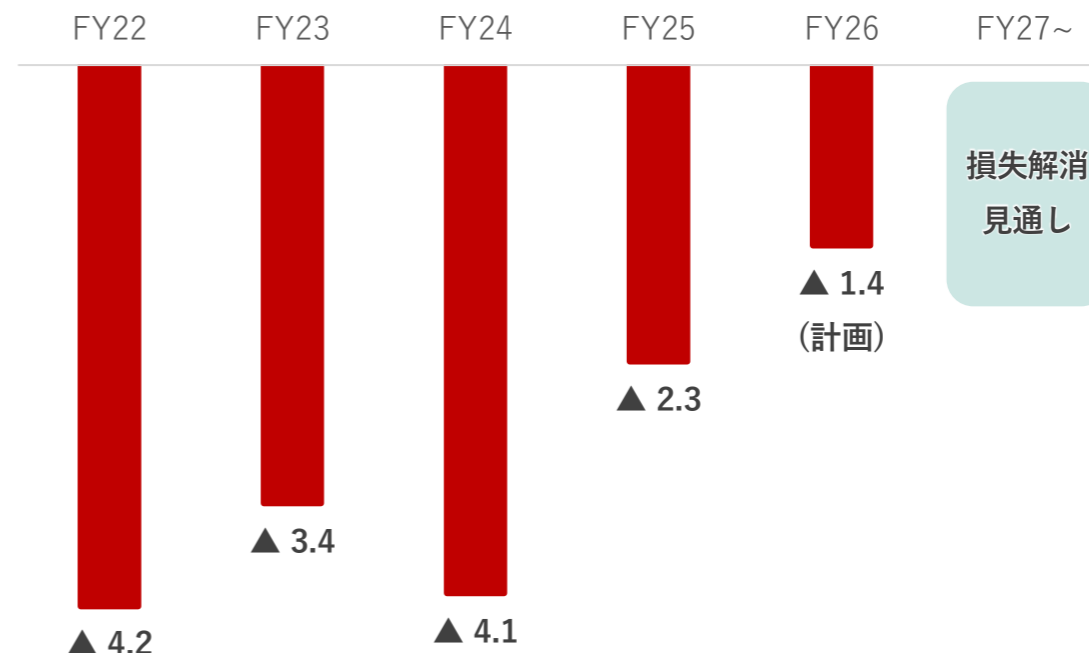


FY26中間期において中国製造子会社を持分譲渡予定

持分譲渡の概要

譲渡理由	<p>事業環境の変化と業績低迷</p> <ul style="list-style-type: none"> 2020年以降のコロナ禍および中国経済の減速により、需要が急激に悪化 これに対し、旧上海工場の閉鎖等の構造改革を推進してきたが、中長期的な収益回復は困難と判断
譲渡先	<p>CHUGOKU MARINE PAINTS (HONG KONG), LIMITED 【中国塗料株式会社100%】</p>
持分譲渡日程	<p>2026年2月26日 持分譲渡契約締結 2026年6月30日 権利義務移転予定日 → 下半期から連結除外予定*</p> <p><small>*海外現地法人は12月決算のため、連結除外が下半期からとなる</small></p>

中国事業の営業利益推移（億円）



⇒ これにより当社グループは中国における自社製造体制から撤退。

今後の海外塗料事業の方針

- ✓ 神東塗料グループの海外事業活用も視野に入れ、東南アジアを中心とする海外拠点に経営資源を再配分すること等を通じて、海外事業の拡大及び収益性の改善に努める

ボンフロン子会社化の概要

1. ボンフロンの概要

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 建築用・工業用・防食用各種フッ素樹脂塗料の製造販売 建築用仕上塗料・塗材の販売 電子部材・フィルム等のフッ素樹脂コーティング材の製造販売
------	--

資本金 300百万円（出資比率：DNT100%）

2. 取引の概要

株式取得先 : AGC株式会社
 株式譲渡実行日 : 2025年12月22日
 （連結損益への取り込みは、FY25は4Qのみ）



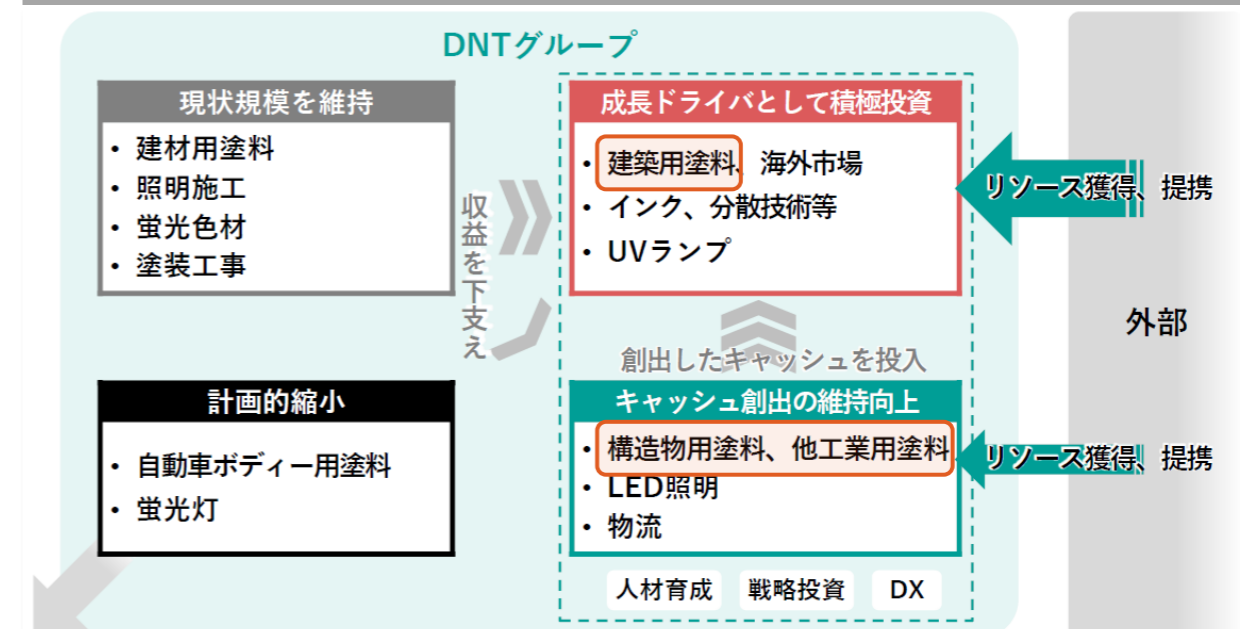
3. 買収後のPMIの状況

- ✓ 目下は社内制度の整備や企業文化の融合に注力
 - ✓ 今後は下記事項の推進に向け、諸施策を遂行中
 - ・グループインによる管理コストの圧縮
 - ・両社の開発力がもたらす技術面での共創
- ⇒開発・製造・販売が一体となることでBFCの潜在的なアップサイドを引き出す

2026中計における本件取引の意義（再掲）

- ✓ AGCコーテックが手掛けるフッ素樹脂塗料の展開分野は、2026中計におけるポートフォリオ整理のうち、
【建築用市場】成長領域
【工業用および防食用市場】キャッシュ創出領域（基幹事業）に位置付けており、中計方針の「外部リソース獲得・活用による事業基盤拡大」の実行にも適した取引。
- ✓ 同社のフッ素樹脂塗料は品質や性能面において業界で高く評価されており、当社技術との融合・昇華により**フッ素樹脂塗料市場におけるさらなるプレゼンスの向上**を目論む。

【2026中計の事業ポートフォリオ】



Part I. 決算実績・業績予想 p. 2

Part II. 中期経営計画の進捗 p. 15

Appendix. 経営指標の推移 p. 26

連結損益計算書（年度推移）

(百万円)	FY14	FY15	FY16	FY17	FY18	FY19	FY20	FY21	FY22	FY23	FY24	FY25
売上高	73,005	76,388	72,789	74,119	73,743	72,709	63,160	66,948	72,849	71,940	72,511	93,759
Y/Y増減率(%)	0.5	4.6	△ 4.7	1.8	△ 0.5	△ 1.4	△ 13.1	6.0	8.8	△ 1.2	0.8	29.3
国内塗料	53,045	55,508	53,498	53,374	52,972	51,861	47,232	49,622	53,250	50,551	50,921	71,870
海外塗料	7,464	7,467	7,019	7,960	8,063	7,290	5,486	6,939	8,066	8,529	8,133	8,590
照明機器	9,131	9,694	9,092	9,470	9,377	10,135	7,239	7,656	8,557	9,686	10,418	10,424
蛍光色材	1,401	1,432	1,377	1,275	1,287	1,337	1,117	1,223	1,154	1,175	1,158	1,088
その他	1,961	2,284	1,801	2,038	2,041	2,084	2,084	1,507	1,820	1,997	1,879	1,785
売上総利益	20,040	21,906	22,649	22,813	21,833	21,800	19,165	19,658	20,616	21,804	22,463	25,878
売上高総利益率(%)	27.5	28.7	31.1	30.8	29.6	30.0	30.3	29.4	28.3	30.3	31.0	27.6
販売管理費	15,612	16,047	16,115	16,224	15,794	16,252	16,336	16,474	16,670	16,902	17,747	22,024
売上高販売管理费率(%)	21.4	21.0	22.1	21.9	21.4	22.4	25.9	24.6	22.9	23.5	24.5	23.5
営業利益	4,428	5,858	6,533	6,588	6,039	5,547	2,828	3,183	3,946	4,901	4,716	3,854
Y/Y増減率(%)	3.6	32.3	11.5	0.8	△ 8.3	△ 8.1	△ 49.0	12.5	24.0	24.2	△ 3.8	△ 18.3
売上高営業利益率(%)	6.1	7.7	9.0	8.9	8.2	7.6	4.5	4.8	5.4	6.8	6.5	4.1
国内塗料	2,353	3,785	3,886	3,466	2,934	2,464	1,631	1,990	1,986	2,200	1,968	1,231
海外塗料	763	775	1,186	1,405	1,190	843	221	236	203	416	238	368
照明機器	785	688	931	1,146	1,238	1,639	479	577	1,285	1,890	2,063	1,928
蛍光色材	154	171	135	119	74	116	54	46	71	28	59	64
その他	177	202	158	213	315	217	257	114	159	138	79	△ 37
調整	194	235	234	236	285	266	183	218	238	227	305	298
経常利益	4,498	5,559	6,600	6,392	6,210	5,786	3,268	3,465	4,316	5,336	5,199	4,479
親会社株主に帰属する当期純利益	2,756	3,614	5,199	4,573	3,604	3,662	1,968	2,031	3,458	4,600	9,437	1,688

* FY20以降の経営指標については、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020/3/31）を適用した数値を記載しております。

連結損益計算書（四半期推移）

(百万円)	FY22				FY23				FY24				FY25			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	17,094	17,760	19,266	18,727	17,814	18,556	18,411	17,158	17,483	18,652	18,972	17,403	22,300	23,664	24,281	23,513
Q/Q増減率(%)	2.2	3.9	8.5	△ 2.8	△ 4.9	4.2	△ 0.8	△ 6.8	1.9	6.7	1.7	△ 8.3	28.1	6.1	2.6	△ 3.2
国内塗料	12,810	13,207	13,879	13,353	12,701	13,233	13,084	11,531	12,404	13,197	13,486	11,832	17,287	18,179	18,682	17,721
海外塗料	1,844	1,698	2,374	2,148	2,127	2,111	2,176	2,113	1,965	2,156	2,068	1,942	2,034	2,121	2,190	2,244
照明機器	1,768	2,138	2,176	2,474	2,253	2,425	2,308	2,699	2,366	2,566	2,616	2,868	2,274	2,603	2,655	2,891
蛍光色材	289	268	301	294	280	337	278	279	292	267	286	311	279	259	262	286
その他	381	447	535	456	451	448	563	534	454	463	513	448	425	501	490	368
売上総利益	4,833	5,175	5,489	5,118	5,471	5,668	5,519	5,145	5,400	5,749	5,981	5,331	6,172	6,454	6,556	6,695
売上高売上総利益率(%)	28.3	29.1	28.5	27.3	30.7	30.5	30.0	30.0	30.9	30.8	31.5	30.6	27.7	27.3	27.0	28.5
販売管理費	4,130	4,104	4,227	4,207	4,269	4,154	4,303	4,175	4,309	4,316	4,548	4,573	5,467	5,341	5,388	5,827
売上高販売管理費率(%)	24.2	23.1	21.9	22.5	24.0	22.4	23.4	24.3	24.6	23.1	24.0	26.3	24.5	22.6	22.2	24.8
営業利益	702	1,070	1,262	910	1,201	1,513	1,215	969	1,091	1,433	1,433	758	705	1,112	1,168	867
Q/Q増減率(%)	21.7	52.4	17.8	△ 27.9	32.0	26.0	△ 19.7	△ 20.2	12.5	31.3	0.0	△ 47.1	△ 7.0	57.9	5.0	△ 25.8
売上高営業利益率(%)	4.1	6.0	6.6	4.9	6.7	8.2	6.6	5.7	6.2	7.7	7.6	4.4	3.2	4.7	4.8	3.7
国内塗料	343	486	771	385	586	765	627	221	436	692	725	114	149	393	490	199
海外塗料	95	93	53	△ 38	105	136	10	163	75	78	103	△ 18	112	127	53	74
照明機器	169	348	356	411	423	490	449	526	467	563	474	558	344	500	505	578
蛍光色材	18	14	24	13	7	6	6	7	13	18	6	20	12	5	22	23
その他	32	31	40	54	18	26	64	27	16	0	42	20	18	9	30	△ 96
調整	44	95	15	83	58	87	57	23	80	81	81	62	67	76	65	88
経常利益	922	1,109	1,251	1,033	1,362	1,598	1,310	1,065	1,382	1,382	1,675	759	848	1,276	1,295	1,059
親会社株主に帰属する四半期純利益	594	728	861	1,273	910	1,046	772	1,871	1,162	1,553	996	5,723	381	1,023	614	△ 331

その他の連結経営指標

(百万円)	FY14	FY15	FY16	FY17	FY18	FY19	FY20	FY21	FY22	FY23	FY24	FY25
貸借対照表												
資産合計	69,252	67,732	70,374	76,155	78,880	76,817	85,765	87,705	92,805	101,618	133,344	137,490
負債合計	40,811	37,112	34,055	32,806	33,796	32,138	34,900	35,713	37,594	39,128	57,173	60,813
純資産	28,441	30,620	36,319	43,349	45,083	44,679	50,865	51,991	55,210	62,490	76,170	76,676
株主資本	20,455	23,382	27,777	31,385	33,868	36,491	37,754	39,101	42,112	46,026	54,515	54,883
自己資本	26,474	28,647	34,103	40,747	42,275	41,762	48,069	49,015	52,033	59,550	65,027	66,773
キャッシュフロー												
営業CF	4,783	5,785	6,133	5,315	4,358	4,434	3,641	3,364	1,282	3,463	3,570	3,011
投資CF	△ 1,838	△ 718	637	△ 398	△ 2,470	△ 4,424	△ 2,325	△ 966	△ 1,449	△ 772	△ 364	△ 3,397
財務CF	△ 2,977	△ 4,317	△ 5,808	△ 4,747	△ 351	△ 742	499	△ 2,841	△ 473	△ 1,657	△ 75	△ 189
現金及び現金同等物期末残高	2,444	3,072	3,953	4,256	5,704	5,064	6,736	6,479	6,340	7,867	11,469	10,913
その他指標												
期末発行済み株式総数	29,710	29,710	29,710	29,710	29,710	29,710	29,710	29,710	29,710	29,710	29,710	29,710
期末自己株式数	13	310	610	819	1,115	1,408	1,405	1,377	1,273	1,246	1,213	1,148
EPS (1株当たり当期純利益)	92.83	122.38	178.06	157.70	125.61	128.96	69.55	71.74	121.78	161.70	331.40	58.86
BPS (1株当たり純資産)	891.46	974.38	1,171.93	1,410.38	1,478.43	1,475.59	1,698.23	1,730.00	1,829.75	2,092.10	2,281.92	2,337.80
1株当たり配当	15.00	17.50	20.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	35.00	49.00	58.00
配当総額	445	514	582	722	714	707	707	708	710	996	1,396	1,656
DOE(前期末株主資本 配当率)	2.4%	2.5%	2.5%	2.6%	2.3%	2.1%	1.9%	1.9%	1.8%	2.4%	3.0%	3.0%
自己資本比率	38.2%	42.3%	48.5%	53.3%	53.6%	54.4%	56.0%	55.9%	56.1%	58.6%	48.8%	48.6%
ROE	11.4%	13.1%	16.6%	12.2%	8.7%	8.7%	4.4%	4.2%	6.8%	8.2%	15.2%	2.6%
NOPAT-ROE	12.7%	14.8%	14.5%	12.2%	10.1%	9.2%	4.4%	4.6%	5.4%	6.1%	5.3%	4.1%

* 当社は2017/10/1付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っており、上記記載は併合前の年度も併合後の株数に置換えて記載しております。

○会社情報

〒542-0081 大阪市中央区南船場1丁目18-11

Tel：06-6266-3100（代表）

公式HP：<https://www.dnt.co.jp/>

Mail：dnt10011100@star.dnt.co.jp（IRに関するご連絡）

○IRメール配信サービス

大日本塗料の決算や経営計画の発表、その他適時開示情報、株主の皆様へのご案内などを、タイムリーに配信しております。

ご登録はこちら：<https://www.magicalir.net/4611/mail/index.php>

○公式SNS



将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、当社の目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。

将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。業界動向や外部環境認識等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成していますが、当社はその正確性や完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。